

地震に備えた住まい方

◆目標

- ・地震に対して安全に住むために、建物、家の中、私たち自身それぞれでできることを考える。
- ・普段からの備えが大事であることに気づき、改善する方法を学び、実践する態度を養う。

◆授業の流れ (50分)

時間	内容	備考
3分	・自己紹介と授業内容の説明 ・近い将来、地震が起こる確率と被害想定について知る。	
2分	・阪神淡路大震災の時の様子 ・亡くなった方の80%が「圧死」であったことを知る。	
3分	①《建物のこと》 ～建物への対策にはどんなものがあるか～ ・「戸建住宅はこんなに揺れる」映像視聴【20秒】 ・「マンションはこんなに揺れる」映像視聴【33秒】 ・昭和56年以前に建った住宅は耐震強度をチェックするほうがよいことを知る。	Eディフェンス映像
10分	・補強の方法3種類をスライドに沿って解説【7分】 ・牛乳パックビルで揺れを実感【3分】	牛乳パック 牛乳パックビル
3分	②《家の中のこと》 ～被害を少しでも減らすための工夫とは～ ・「地震後の家の中の様子」映像視聴【48秒】 ・「マンションの部屋はこう揺れる」映像視聴【40秒】	幸せ運ぼう映像 Eディフェンス映像
10分	・家の中での対策を考え、発表。同時にワークシートに記入。【3分】 ・L型金具、固定ベルト、突っ張り棒、ガラス飛散防止フィルム等、実物とパワーポイントで紹介する。【3分】 ・「家具の固定「あり」と「なし」の違い」映像視聴【1分42秒】	ワークシート 家具固定グッズ
3分	・“有効クイズ”をする。挙手させ、同時にワークシートに記入。 クイズ1：正しいのはどっち？ ①突っ張り棒は手前に設置 ②突っ張り棒は奥に設置 クイズ2：この方法は効果がある？ ③天井と家具の間を衣類などを詰めた箱ですきまなく埋める	ワークシート
10分	・予想があっているかどうか実験で確認し、ワークシートに正解を記入。 【8分】※基本はクイズの3パターンのみ実験させる。 → 室内に見立てたボックスの揺らし方を指示する。 交代で場所を移動し、全員が作業できるように促す。 ・実験の結果をパワーポイントを使って確認する。【2分】	パワーポイント 実験グッズ
3分	・家具の配置の工夫、整理整頓も大事であることを知る。 ・家族で相談し、実践するよう促す。	
3分	授業の感想を記入	ワークシート

◆準備物

○スクリーン（大型TV）

○プロジェクター、スピーカー、パソコン（パワーポイント・映像データ）

○ワークシート

○説明・実験用

- ・牛乳パック（輪切り、パターンA～C）

- ・牛乳パックビル

- ・家具固定グッズ【実物】

（L型金具、家具固定ベルト、つっぱり棒（2本）、ガラス飛散防止フィルム、
ジェルシート（耐震パッド）、すきまマット（くさび）、新聞紙）

- ・家具固定グッズ【実験用】

（ファイルボックス、ジュースたんす、つっぱり棒（模型）、発砲スチロールの箱、
すきまマット（くさび）、まるめた新聞紙、ダンボール（高さ調整用））